

秋田県立



岩城少年自然の家

ガンパル岩城



キャッチフレーズ「3-S」 minds

Smile (笑顔) ! Speed (迅速) ! Safety (安全) !

令和8年度 要覧

■運営方針

自然の中で宿泊その他の活動を集団で行うことにより、心身ともに健全な少年を育成するとともに、県民の生涯学習の振興に資する。

■重点事項

- ・雄大な自然と施設の機能を生かした、豊かな体験活動ができる場や機会の提供
- ・学校等のねらい達成に向けた、教育活動（セカンドスクールの利用含む）の多角的な支援
- ・体験プログラムの充実を目標とした地域や関係機関・団体および外部人材との連携

■目指す子どもの姿

自然に親しみ 仲間と協力し 自分を鍛える子ども

令和8年度テーマ

ふるさと岩城の資源を活かした体験活動をとおして豊かに生きる力を育む
～開設50周年に向けた3C(Chance→Challenge→Change)～
機会を捉え 挑戦し 変化する



〒018-1215

秋田県由利本荘市岩城赤平字長ヶ沢260-8

TEL 0184-74-2011 FAX 0184-74-2012

<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/iwaki-sizen>

iwaki-c@mail2.pref.akita.lg.jp

HP



FB



IG



沿革史

58年	6. 1	秋田県立岩城少年自然の家 開所 初代所長 丸山 亮 他 所員9人発令
	7. 1	利用団体受け入れ開始
	11. 21	第1回運営協議会開催
	12. 23	所報「岩城少年自然の家だより」創刊
59	3. 23	所章、所歌制定
61	3. 31	「わんぱく広場」竣工
	4. 1	2代所長 木谷豊四 就任
63	7. 16	利用者10万人突破記念式典
	7. 1	創立5周年記念式典
元	12. 3	利用者20万人突破記念式典
3	4. 1	3代所長 安藤武俊 就任
4	8. 3	利用者30万人突破
5	4. 1	4代所長 藤田 晃 就任
	10. 1	創立10周年記念式典 記念誌「少年と共に」発行
6	4. 1	5代所長 三浦隆一 就任

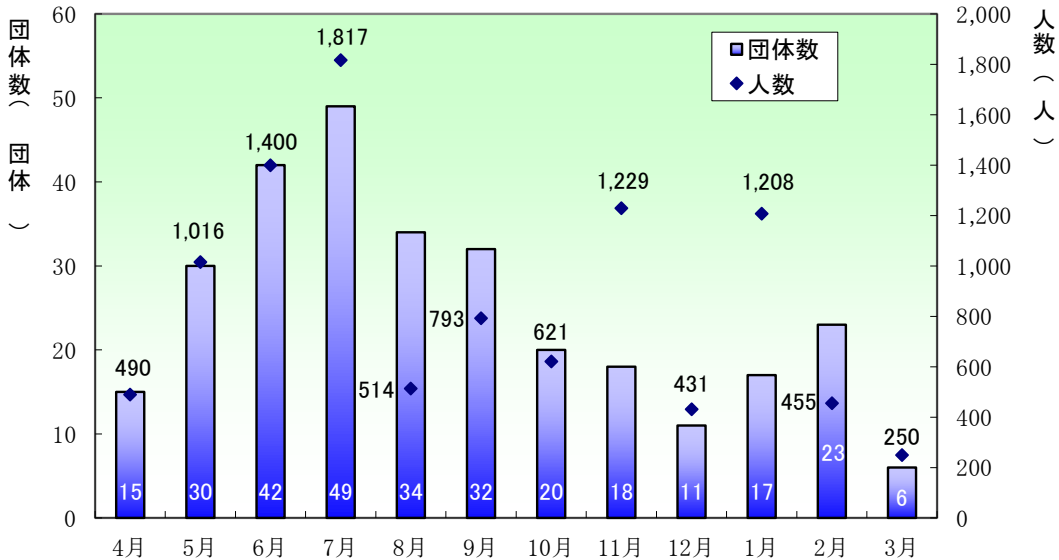
6	9. 9	利用者40万人突破記念式典
8	4. 1	6代所長 佐藤治雄 就任
	8. 10	野外食堂「森の食堂」竣工
9	1. 20	「いわびよん」マスコット制定
	9. 9	利用者50万人突破記念式典
11	10. 12	創立15周年記念式典
	4. 1	7代所長 荘司昭夫 就任
12	12. 27	屋内クラインミングボード完成
	6. 22	利用者60万人突破記念式典
13	3. 24	大規模改修工事完了
	4. 1	8代所長 今野賢一 就任
14	6. 25	マイクロバス導入
	3. 18	PAロープコース完成
15	10. 6	創立20周年式典 ザリガニ池竣工
	2. 15	利用者70万人突破記念式典
16	4. 1	9代所長 小番幸雄 就任
	10. 29	大規模改修(給湯操作盤関係)完成
17	12. 10	県内産エコ製品モデル事業完成
	4. 1	10代所長 齋藤正博 就任
19	12. 3	利用者80万人突破記念式典
	3. 22	大規模改修(屋根)工事完成
21	4. 1	11代所長 佐々木時夫 就任
	4. 1	12代所長 小野安広 就任
23	7. 8	利用者90万人突破
	4. 1	13代所長 石井満彦 就任
24	12. 12	「こどものえき」認定
	3. 23	里山林保全整備事業完成
25	11. 1	創立30周年式典
	4. 1	14代所長 工藤 均 就任
27	4. 1	15代所長 須藤芳樹 就任
	5. 28	利用者100万人突破記念式典
29	4. 1	16代所長 小玉雅彦 就任
	4. 1	17代所長 佐藤 健 就任
元	9. 14	利用者110万人突破
3	4. 1	18代所長 田山 淳 就任
	4. 1	19代所長 須田昌樹 就任
5	11. 24	創立40周年式典
	2. 7	「ガンバル岩城」愛称制定
6	2. 17	鳥海山・飛鳥ジオパーク推進協議会と協定締結
	12. 24	20代所長 相庭俊一 就任
7	4. 1	21代所長 岩見誠一 就任

19	3. 22	大規模改修(屋根)工事完成
21	4. 1	11代所長 佐々木時夫 就任
	4. 1	12代所長 小野安広 就任
22	7. 8	利用者90万人突破
	4. 1	13代所長 石井満彦 就任
23	12. 12	「こどものえき」認定
	3. 23	里山林保全整備事業完成
24	11. 1	創立30周年式典
	4. 1	14代所長 工藤 均 就任
26	4. 1	15代所長 須藤芳樹 就任
	5. 28	利用者100万人突破記念式典
27	4. 1	16代所長 小玉雅彦 就任
	4. 1	17代所長 佐藤 健 就任
29	9. 14	利用者110万人突破
	4. 1	18代所長 田山 淳 就任
31	4. 1	19代所長 須田昌樹 就任
	11. 24	創立40周年式典
元	2. 7	「ガンバル岩城」愛称制定
3	2. 17	鳥海山・飛鳥ジオパーク推進協議会と協定締結
	12. 24	20代所長 相庭俊一 就任
5	4. 1	21代所長 岩見誠一 就任

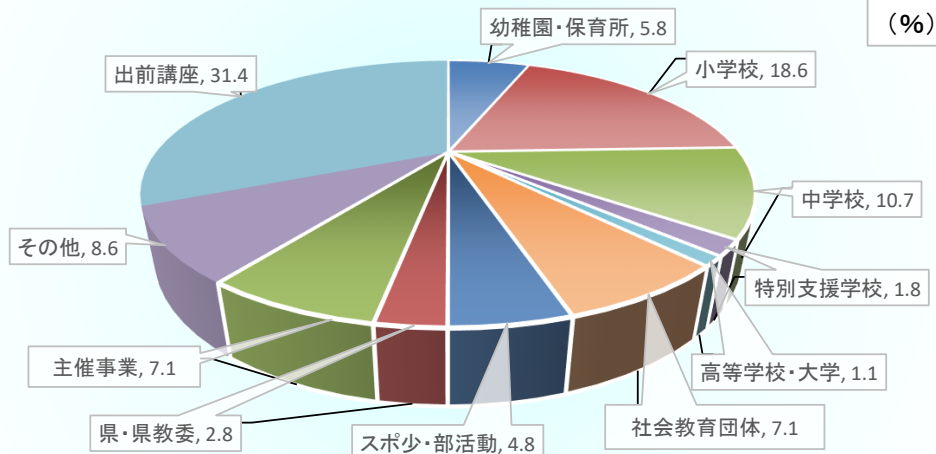
利用状況

令和7年度 のべ利用人数 10,224 人 利用団体総数 297 団体

月別利用者数・団体数



対象別利用者数



主催事業

事業の概要



施設機能を生かし、地域や関係機関・団体等と連携を図りながら、子どもをはじめ県民の豊かな体験活動の機会として主催事業を行います。

団体等の受入

学校等の宿泊体験学習、スポーツ少年団やサークル、子ども会、町内会等の研修の場として、幼児からお年寄りまでの団体及び家族等のグループを受け入れ、活動を支援します。

1 子どもわんぱく事業

キッズキャンプ 対象:年中～小学3年

自然体験を中心とした様々な活動や参加者同士の交流を通して、子どもたち（幼児から小学校下学年）が集団で活動し、楽しむことができるようにします。

① 9/26 (土) ② 1/30 (土)

わんぱくキャンプ 対象:小学3年～中学生

自然体験を中心とした様々な活動や参加者との集団生活を通して、人やもの、自然に直接触れる機会をもち、子どもたち（小学校上学年から中学生）の自律性や協働性を育てます。

① 8/6 (木)～8 (土) ② 1/7 (木)～9 (土)



2 親子ふれあい事業

ファミリーキャンプ 対象:子どもを含む家族等のグループ

季節ごとの自然の豊かさや魅力に触れながら、キャンプにおける諸活動を通して、家族間や家族同士の交流を図ります。

① 5/23 (土)～24 (日) ② 10/24 (土)～25 (日)
③ 3/6 (土)

3 施設開放事業

オープンデー 対象:どなたでも

施設機能や利用相談、活動プログラム、時季に応じた特別プログラムなどを通して、体験活動の機会を提供します。

偶数月 第3日曜日(10月以降は奇数月も実施)

4 生涯学習支援事業

おとなの遠足 対象:成人

自然散策をしながら、季節ごとの自然の豊かさや魅力に触れ、生涯にわたって学び続ける意欲を高めます。

① 5/31 (日) ② 7/12 (日) ③ 2/10 (水)

おとなの課外学習 対象:成人

今日的に重要な自然に関するテーマを、体験を通して学ぶことによって、生涯にわたって学び続け、社会参加する意欲を高めます。

11/8 (日)



仲間づくりに
ふれあいゲーム
あきたアドベンチャープログラム

生活・防災
野外炊飯
テント泊
火おこし
防災スキル



緑の野山で
追跡ハイク
ウォークラリー
ポイントラリー
ネイチャービンゴ
植物ネイチャービンゴ
バードウォッチング
ザリガニ釣り

創作活動
自然物工作
プラ板工作
うす板工作
ストーンアート (WAROCK)
まゆ玉工作
バードコール
リース
門松
焼き板工作
七宝焼き

夜の活動
ナイトハイク
キャンプファイヤー
かがり火ファイヤー
キャンドルファイヤー

冬の活動
スノーシュー
和かんじき
そり遊び

あきたアドベンチャープログラム

※旧名称:プロジェクトアドベンチャー (PA)
人間関係を築く上で大切な「信頼する心」や「未知のことに取り組むチャレンジ精神」「達成感」などを、他者と協力しながら行う体験活動の中で育みます。
令和7年4月から、株式会社プロジェクトアドベンチャージャパン (PAJ) に学んだ知見に、本県独自のノウハウを含め、より充実したプログラムにしていいため「あきたアドベンチャープログラム」に名称を変更しました。

出前講座

学校や公民館、放課後子ども教室等の各種団体の依頼により、出向いてふれあいゲームや自然物工作等の創作活動を行います。

また、テントやシュラフ等の用具の貸出も行っています。

施設の概要

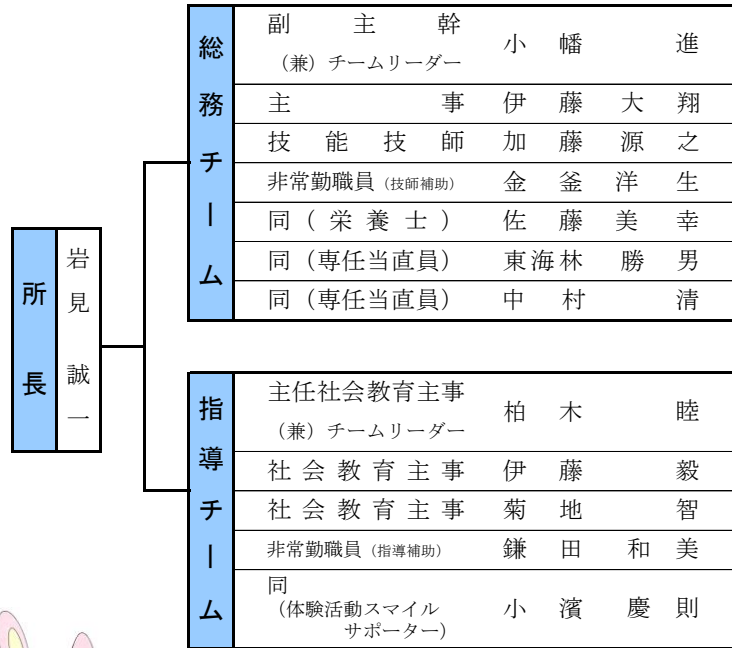
施設面積	
敷地面積	66,461.00㎡
建床面積	2,671.84㎡
延床面積	4,503.72㎡

宿泊室定員		
12人定員	14室	168人
10人定員	2室	20人
8人定員	4室	32人

体育館	
バレーコート	2面

研修室定員	
大研修室	80人
小研修室	30人

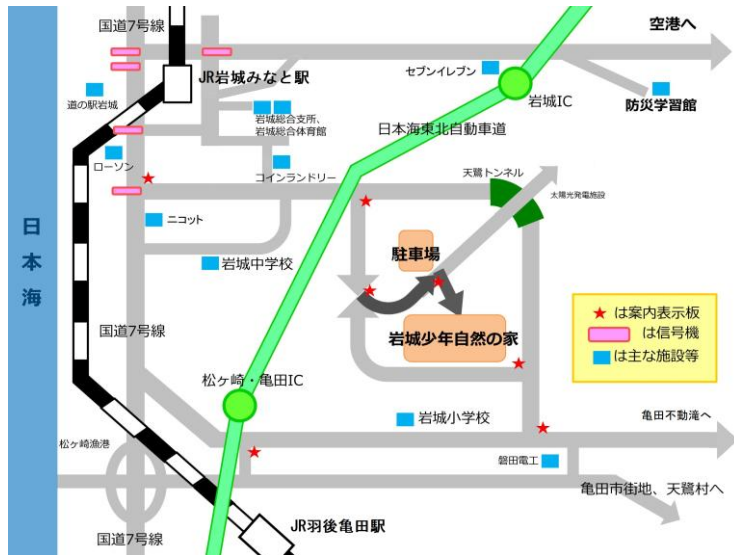
組織図



ガンパル岩城



アクセス



岩城少年自然の家は、自然・集団宿泊的体験活動をとらして児童生徒の健全育成を目的とする教育施設として、1983年（昭和58年）に設置されました。これまでに115万人を超える方々にご利用をいただいております。

施設の周囲は豊かな緑に覆われ、西には日本海が広がっています。そのため、岩城の豊富な資源を生かした活動プログラムを体験することができます。また、四季の変化に富み、そり遊びやスノーシューなどの冬季の野外活動をすることもできます。テントサイト、営火場、野外炊事施設をはじめ、バレーコートが2面とれる体育館、大小2つの研修室、創作室などを有しており、多様な研修にも対応しています。

